

第 94 回 全国健康保険協会千葉支部評議会の概要報告

開 催 日	平成 29 年 11 月 28 日 火曜日 14:30～ 16:05
開 催 場 所	日本生命千葉ビル 4 階会議室
出席者	飯田評議員、小賀野評議員、桐谷評議員、鈴木評議員、高原評議員、出口評議員、松本評議員、山口評議員（五十音順）
議 題	1. 平成 29 年度上期 千葉支部事業実施状況について 2. 保険者機能強化アクションプランについて
議 事 概 要 (主な意見等)	

支部長挨拶

* 第 94 回千葉支部評議会にご出席いただきありがとうございます。今回の議題は、平成 29 年度上期千葉支部事業実施状況について、保険者機能強化アクションプランについての 2 点でございます。保険者機能強化アクションプランについては平成 27 年 10 月に第 3 期の計画が策定され、今年度までの検証結果を踏まえ来年 4 月から第 4 期のスタートを予定しています。第 4 期では保険者機能を基盤的機能、戦略的機能の 2 つに整理されています。基盤的機能としては現金給付業務とレセプト業務を着実に実施するとともに、戦略的機能である医療提供者や加入者・事業主への働きかけが大変重要だと考えております。保険者機能強化アクションプラン（第 4 期）は、今後の千葉支部の事業運営の大きな指針になるため、評議員の皆様からご意見をいただきたいと存じます。本日も活発なご議論をお願いします。

議事概要

1. 平成 29 年度上期千葉支部事業実施状況について

■資料 1：平成 29 年度上期千葉支部事業実施状況について

《主な意見・質問等》

◆ジェネリック医薬品の使用について、患者は処方箋を貰った際にジェネリック医薬品と先発医薬品のどちらが良いか分からない。医師からジェネリック医薬品について患者に直接話があれば使用率も上昇すると思われるが、協会として医師に対してどのような取り組みを行っているか伺いたい。《事業主代表》

⇒医師会としてはジェネリック医薬品の使用に賛同いただいています。しかしながら、ジェネリック医薬品に疑問を感じる医師がいるのも現状です。また、千葉県の調査で医療機関のシステムが一般名処方に対応しておらず先発医薬品名でしか処方箋を出せない医療機関が多数あることも明らかになっています。千葉支部では、先月薬局ごとのジェネリック医薬品使用に関するアンケートを実施しております。その結果を基に、県や医師会・薬剤師会と協議

し対策を検討したいと考えております。

◆資格喪失後受診において、医療機関では保険証のチェックをしていると思うが、それをすり抜けて支払基金や組合に請求が上がり、保険証に有効期限を入れる等の対策は打てないのか《学識経験者》

⇒本来、加入者は資格喪失後に保険証を事業所に返す必要がありますが、保険証を返さずにそのまま医療機関を受診してしまうことが多く、これは医療機関での保険証のチェックでは防ぐことができません。また、保険証に有効期限を設けると、更新の際に莫大な費用がかかることとなりますので難しいと思われま。現在、政府ではマイナンバーを活用したオンラインでの資格確認が検討されていますので、実現すれば資格喪失後受診は減少していくと思われま。なお、協会けんぽ加入者の資格確認システムを一部の医療機関で導入していますが、医療機関の窓口での事務負担が増えるという理由もあり、普及は進んでいない状況です。

2. 保険者機能強化アクションプランについて

■資料2：保険者機能強化アクションプランについて

《主な意見・質問等》

◆アクションプランの進捗状況は誰が管理し評価していくのか。事業計画のように支部ごとで進捗管理していくものなのか、全体像としてどのようなものなのかを伺いたい。

《被保険者代表》

⇒アクションプランは協会けんぽの基本理念を実現していくための全体の行動計画となりますので、本部が管理し運営委員会での議論を踏まえて策定・評価していくこととなります。この、アクションプランの方針を踏まえて、支部の事業計画を立てていくこととなります。

◆OJTは非常に有効であり、実際の仕事を通して習熟させていくことに大きな意味があると認識しているので、しっかり取り組んでもらいたい。《学識経験者》

特記事項

- ・第94回千葉支部評議会傍聴者 支部職員2名
- ・第95回千葉支部評議会開催予定 平成29年12月21日(木) 14:30～